

「ひょうごビジョン2050」と「戦略後期2か年の重点取組方針」との対応表

5つのめざす社会	めざす姿	戦略後期2か年の重点取組方針
I 自分らしく生きられる社会	① 自由になる働き方	〈Return〉 テレワーク、ワーケーション、マルチワークなど多様な働き方の拡大 〈Return〉 ワークライフバランスやダイバーシティ&インクルージョン（人材の多様性を認めて活かす）の促進強化
	② 居場所のある社会	〈Return〉 ワークライフバランスやダイバーシティ&インクルージョン（人材の多様性を認めて活かす）の促進強化【再掲】 〈Future〉 空き家や空き店舗を活用した子どもの居場所づくりの支援
	③ 世界へ広がる交流	〈Frontier〉 地域資源の磨き上げにより万博来場者を県内に呼び込む「ひょうごフィールドパピリオン」の展開 〈Frontier〉 ベイエリアの活性化（広域海上観光圏の形成、海上交通の充実、空飛ぶクルマの商用運航等） 〈Frontier〉 神戸空港の国際化を見据えた観光やビジネスの戦略推進（海外富裕層向け旅行商品の造成、観光関連産業の集積等）
II 新しいことに挑戦できる社会	④ みんなが学び続ける社会	〈Return〉 地域で活躍する起業家やクリエイター等と高校生との交流機会の創出 〈Future〉 県立学校における文理横断型の新学科の創設やICT環境の整備など、魅力や特色ある学校づくりの推進 〈Future〉 県立学校の施設改修の加速や、部活動の環境充実など快適な学校環境の整備
	⑤ わきあがる挑戦	〈Frontier〉 スタートアップ支援の強化（地域課題解決型のスタートアップ育成、スタートアップと県内既存企業のオープンイノベーション推進等） 〈Frontier〉 包括連携協定や企業版ふるさと納税など公民連携の取組強化
	⑥ わきたつ文化	〈Return〉 スポーツ(プロスポーツ、アーバンスポーツ、eスポーツ)や音楽イベントによる地域活性化など、若者目線の新たなまちづくりの推進
III 誰も取り残されない社会	⑦ みんなが生きやすい地域	〈Frontier〉 高度外国人材や留学生等の受入促進、受入体制の整備 〈Future〉 家事や家族の世話などを日常的に行っているヤングケアラーへの支援 〈Future〉 ふるさと寄付金等も活用した、課題を抱える妊産婦への居場所の提供や住まい・就労支援 〈Future〉 発達障害や被虐待により課題を抱える児童養護施設の児童への支援 〈Future〉 児童養護施設等を退所した児童等への支援
	⑧ 安心して子育てできる社会	〈Future〉 AIを活用したマッチングシステムや市町・民間事業者との連携など、出会い支援の強化 〈Future〉 不妊症・不育症治療が受けやすい環境整備の推進 〈Future〉 家事・育児等に不安を抱える子育て家庭への支援強化 〈Future〉 子ども家庭庁の創設も踏まえ、国の出産や子育て、経済的負担軽減施策に係る各種施策の活用の促進（出産準備金、出産育児一時金、出世払い型奨学金等）
	⑨ 安心して長生きできる社会	〈Frontier〉 県・市町の重層的な支援体制の整備や公民連携による持続可能な多自然地域づくり、関係人口創出の促進及び地域伴走支援の充実強化 〈Return〉 ワークライフバランスやダイバーシティ&インクルージョン（人材の多様性を認めて活かす）の促進強化【再掲】 〈Return〉 情報通信基盤の強化等によるビジネス環境の充実

ひょうごビジョン2050

IV 自立した 経済が息づ く社会	⑩ 循環する 地域経済	<p>〈Frontier〉 環境創造型農業の取組拡大と地産地消の促進、県産木材の活用拡大</p> <p>〈Return〉 古民家再生の担い手育成や文化的価値の継承</p>
	⑪ 進化する 御食国	<p>〈Frontier〉 環境創造型農業の取組拡大と地産地消の促進、県産木材の活用拡大【再掲】</p>
	⑫ 活動を支 える確か な基盤	<p>〈Frontier〉 〆エリアの活性化（広域海上観光圏の形成、海上交通の充実、空飛ぶクルマの商用運航等）【再掲】</p> <p>〈Return〉 情報通信基盤の強化等によるビジネス環境の充実【再掲】</p>
V 生命の持 続を先導す る社会	⑬ カーボン ニュート ラルな暮 らし	<p>〈Frontier〉 国際的な水素サプライチェーンの拠点形成や蓄電池関連産業の集積促進</p> <p>〈Frontier〉 中小企業の脱炭素化の支援強化（SDG s 認証制度の創設、温室効果ガス排出量の算定支援、太陽光発電設備の導入支援、Jクレジット制度への参画促進、ブルーカーボンのクレジット制度の構築検討、カーボンフットプリントの普及促進等）</p>
	⑭ 分散して 豊かに暮 らす	<p>〈Frontier〉 県・市町の重層的な支援体制の整備や公民連携による持続可能な多自然地域づくり、関係人口創出の促進及び地域伴走支援の充実強化【再掲】</p> <p>〈Return〉 SNSやAIを活用した情報発信、相談機能の強化</p> <p>〈Return〉 空き家活用特区の活用等による移住受入れ環境の充実</p> <p>〈Return〉 市街化調整区域における土地利用の規制緩和</p>
	⑮ 社会課題 の解決に 貢献する 産業	<p>〈Frontier〉 スタートアップ支援の強化（地域課題解決型のスタートアップ育成、スタートアップと県内既存企業のオープンイノベーション推進等）【再掲】</p> <p>〈Frontier〉 包括連携協定や企業版ふるさと納税など公民連携の取組強化【再掲】</p> <p>〈Frontier〉 メタバース(仮想空間)などデジタル活用の新展開</p> <p>〈Return〉 Z世代の就業志向を踏まえた企業のSDG s の取組促進</p>